

## 平成 26 年度事業報告書

平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日まで

特定非営利法人  
九重トキゆめプロジェクト 21

### 1. 事業の成果

本事業の目的は、トキを再び九重から日本の空に復活させることにある。この実現を図るために、事業再生を基盤とした九重トキゆめプロジェクト 21 構想を基本に掲げて活動してきた。

中国のトキ交流事業については、このえ緑陽中学生 7 名と引率者 6 名計 13 名が中国を 7 月 31 日から 8 月 4 日の日程で訪問した。洋県ではトキ保護センターや野生トキのねぐらを視察するとともに現地の中学生との交流を行った。また早朝野生のトキが飛翔するさまも視察した。8 月 22 日の報告会では「トキのすめるような自然を守っていくためには 1 人ひとりが環境に対する意識を持つ必要がある」「素晴らしい自然を守るためにも私たちが気を付けて生活しなければならない」などの報告がなされた。同行した高橋理事長より、本年も中国のトキ支援のためにタブレット一台を洋県トキ保護協会に寄贈した。

トキもすめる環境づくりについては、ビオトープを整備した。また、トキ夢米の啓発販売を行った。

地域子どもたちへの啓発事業については、九重ふるさと自然学校と連携し、鹿児島県のクロツラヘラサギの視察研修を行った。自然学校スタッフ 3 名が夏(平成 26 年 8 月 21 日～23 日)に 25 名、冬(平成 27 年 1 月 17 日～18 日)に 18 名の子どもを引率し、夏にはクロツラヘラサギの越冬地である錦江湾において、干潟の生きもの観察等を行い、冬には実際に越冬しているクロツラヘラサギの観察等を行った。

組織強化については、引き続き努力したい。

話題①

茅の輪潜り 牧口八幡神社夏越祭り



7月31日、牧口八幡神社で夏越祭りが行われました。そのなかで、茅草で作られた大きな輪をくぐる「潜り神事」があり、参拝者の方々は宮司の後に続いて輪の中を潜りました。

茅の輪くぐりとは茅でできた、人が通れるくらいの大きな輪をくぐることで、半年の間にたまった、心の穢れをとる行事です。

終わった後には、茅の輪をちぎり、家用に輪を作って持って帰っていました。

九州中学校  
陸上競技大会！

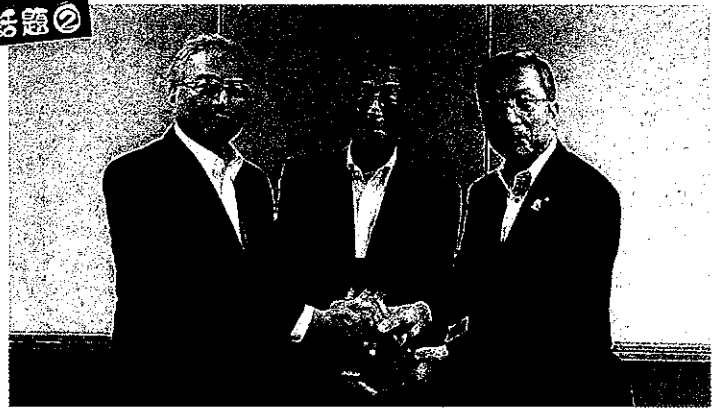
話題③



8月7日〜8日に行われた九州中学校陸上競技大会、男子共通200mに本松建洋さん（このえ緑陽中）が出場し、大会前に坂本町長に出場報告を行いました。大会は長崎県で行われ、結果は惜しくも予選敗退となりましたが、本松さんの今後のさらなる活躍が期待されます。

多様な分野で相互に連携・協力ができる体制を  
「立命館アジア太平洋大学との友好交流に関する協定」を締結

話題②

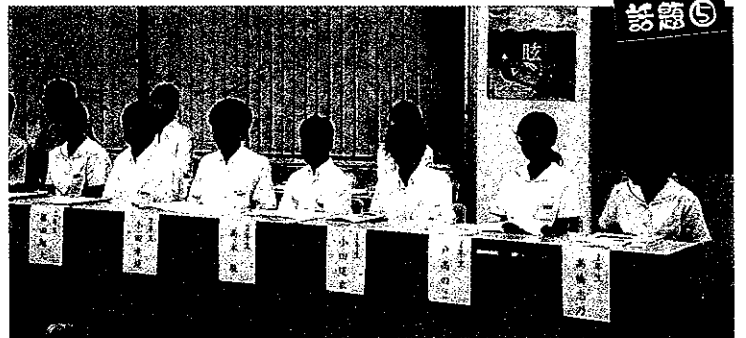


8月1日、大分県庁にて、九重町と立命館アジア太平洋大学（APU）との友好交流に関する協定書調印式が行われました。この協定は、地域の持続的な発展と国際的に活躍できる人材の育成において連携し協力していくこととしたものです。

今回の協定締結により、APUの学生・教職員と様々な場面での交流により本町の国際化・情報発信力強化につながることが期待されます。

中国陝西省中学生派遣研修報告会

話題④



開催となった今回はこのえ緑陽中学校から7名の生徒が参加しました。

7月31日から8月4日までの4泊5日の日程で、野生のトキの生息環境を研修し「トキの住めるよいうな自然を守っていくためには一人ひとりが環境に対する意識を持つ必要がある」「素晴らしい自然を守るためにも、私たちが気を付けて生活しなければいけない」などの報告がありました。

この研修で多くのことを学んだ生徒たちのこれからさらなる活躍が期待されます。

8月22日に中国陝西省中学生派遣研修の研修報告会が開催されました。この研修は2010年に九重町と中国陝西省林業庁との間で締結された環境保護協力協定に基づき実施されたもので、2年ぶり3回目の

# 九重ふるさと 自然学校

## 活動報告

### トキの里クラブ サマーキャンプ in 鹿児島

昔は、日本中の自然豊かな里地里山にたくさんいたトキ。「トキの里クラブ」では、そんなトキが舞い戻り、棲みついてくれるくらいに生きものが豊かな環境を目指し活動を行っています。活動内容としては、毎年自然共生型の田んぼづくりを行ったり、川や田んぼ、草原での生きものしらべを行ったりしています。また、九州最大の川“筑後川”の源流域である九重町の住民として、今春には筑後川の下流域や有明海の様子を見学しに探検クルーズも行いました。そして今回、8月21日～23日の2泊3日の日程で、トキの里クラブメンバー25名が鹿児島の錦江湾（重富海岸）へ、サマーキャンプに行ってきました。

錦江湾（重富海岸）では、昔たくさんのゴミが散乱していましたが、地元の方々が地道に清掃活動を続け、皆で美しい海岸づくりを目指しています。その甲斐あって、生きものにとっても暮らしやすい環境となり、世界的にも大変数が少ない絶滅危惧種クロツラヘラサギ(トキの仲間)も越冬のために毎年ここにやってきます。

今年のサマーキャンプでは、干潟の生きものしらべを行ったり、海や川で思いっきり遊んだり、クロツラヘラサギの越冬場所で清掃活動を行ったり、山・川・海の繋がりについて学んだりしてきました。

鹿児島の干潟や海での貴重な体験をもとに、私たちのふるさとである九重町の身近な自然にも目を向け、さらには上流域の住民として川でつながる地域にも思いをはせることのできる心を育むきっかけになればと思います。

### 【1日目】海での活動



### 【2日目】清掃活動、川での活動



### 【3日目】干潟での活動



## 2. 事業実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従業者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数
中国のトキ 支援・交流事 業	トキゆめ基金	年間	国内全域	15名	賛同者
	研修会の開催	未実施			
	交流(中国視察研修)	7月31日～8 月4日	中国(西安、洋県)	13名	
	視察研修報告会	8月22日	九重町役場	13名	20名
トキの住め る環境づく り事業	生息環境現地調査お よびビオトープ作り	7月25日～26 日	町内湯坪	6名	
	トキ夢米の協議	10月15日	町内	7名	名
		10月21日		7名	
		12月3日		7名	
田んぼの土壌調査	2月	各圃場	4名		
地域・子ども たちへの啓 発事業	町内小学校交流	未実施			
	トキのすめる田んぼ づくり(田植え)	5月31日	九重ふるさと自 然学校圃場	1名	21名
	トキの里クラブサマ ーキャンプ	8月21日～23 日	鹿児島県始良市		25名
	トキのすめる田んぼ づくり(稲刈)	9月27日	九重ふるさと自 然学校圃場	1名	23名
	トキの里クラブウイ ンターキャンプ	1月17日～18 日	鹿児島県始良市		18名
組織の強 化	認定NPO法人格の取 得研究				
	基金の拡大				

## 財産目録

2015年 3月 31日現在

(単位：円)

科目	金額	
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
現金預金		
郵便局振替通帳	123,400	
大分銀行このえ支店	984,962	
定期預金	1,701,545	
未収金	0	
	0	
棚卸資産		
パンフレット	159,496	
流動資産合計		2,969,403
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
什器備品		
フィールドスコープ他	45,319	
固定資産合計		45,319
資産合計		3,014,722
<b>II 負債の部</b>		
1. 流動負債		
未払金	0	
	0	
預り金	0	
	0	
流動負債合計		0
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		0
正味財産		3,014,722

## 貸借対照表

2015年 3月 31日現在

(単位:円)

科目	金額		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	2,809,907		
未収金	0		
貯蔵品	159,496		
流動資産合計		2,969,403	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
什器備品	45,319		
有形固定資産計	45,319		
固定資産合計		45,319	
資産合計			3,014,722
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	0		
預り金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		2,938,003	
当期正味財産増減額		76,719	
正味財産合計			3,014,722
負債及び正味財産合計			3,014,722

## 活動計算書

2014年 4月 1日 ～ 2015年 3月 31日まで

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 経常収益</b>			
1. 入会金収入			
基金収入	10,000		
	0	10,000	
2. 寄付金収入			
寄付金収入	284,279	284,279	
3. 事業収益			
自主事業収益	0		
受託事業収益	0	0	
4. その他収益			
受取利息	471		
雑収入	0		
雑収益	0	471	
経常収益計			294,750
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
臨時雇賃金	0		
法定福利費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
賃借料	0		
印刷製本費	2,572		
旅費交通費	0		
交際費	0		
減価償却費	45,314		
その他経費計	47,886		
事業費計		47,886	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
消耗品費	0		
事務所使用料	50,000		
事務局費	56,628		
会議費	25,543		
旅費交通費	37,650		
雑費	324		
その他経費計	170,145		
管理費計		170,145	
経常費用計			218,031
当期正味財産増減額			76,719
前期繰越正味財産額			2,938,003
次期繰越正味財産額			3,014,722

## 財務諸表の注記

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によつています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
棚卸資産の評価基準は、原価基準により評価方法は総平均法によつています。
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。
- (3) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込経理方式によつています。

### 2. 事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです。

(単位:円)

科目	1	2	3	4	5
(1) 人件費					
給料手当					0
臨時雇賃金					0
法定福利費					0
人件費計	0	0	0	0	0
(2) その他経費					
賃借料					0
印刷製本費	2,572				2,572
旅費交通費					0
交際費					0
減価償却費				45,314	45,314
その他経費計	2,572	0	0	45,314	47,886
合計	2,572	0	0	45,314	47,886

### 3. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科目	1	2	3	4	5	6
什器備品	580,000				580,000	△ 534,681
合計	580,000	0	0	580,000	△ 534,681	45,319

### 4. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	1	2
	0	0